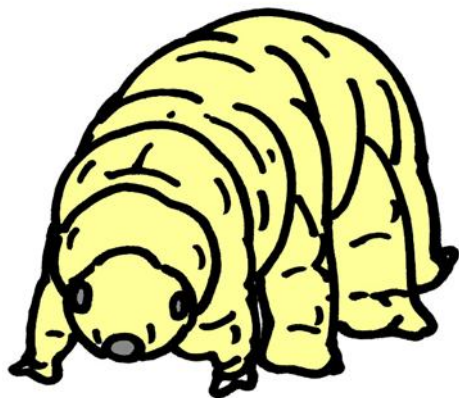


## 「クマムシの研究 (1)」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

「クマムシ」という動物がいるらしい。「ムシ(虫)」といっても、昆虫やクモのような節足動物ではない。クマムシは、**緩歩動物(門) *Tardigrada*** に属する動物の総称である。陸上、淡水、海水のどこにでも存在し、非常に耐久性が強いらしい。0.5mmにも満たない小さな動物だが、拡大して見ると、熊が歩いているような格好をしているので、この名がついた。イラストにするとこんな感じである。



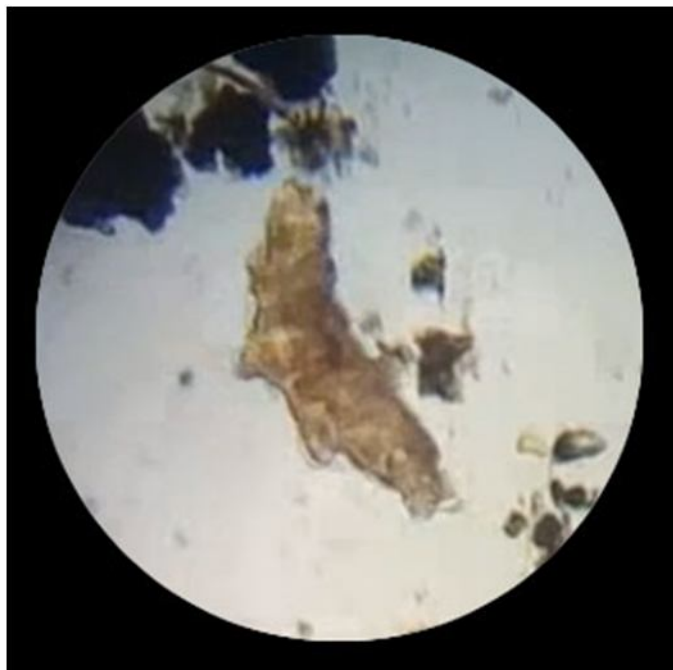
私は友人(区立中学校の理科教師)に聞くまで、クマムシも緩歩動物のことも知らなかった。まず、驚くべきは、その耐久性(長寿)である。種類によっては、100℃以上の高温、-40℃以下の低温にも耐え、真空の宇宙空間に曝されても、その後生き返るといふ。まさに「×富士見」「◎不死身」と言える。



友人によると、クマムシは決して珍しいものではなく、都内でも**ギンゴケ**(上写真)という、どこにでもあるコケの間に住んでいるという。

私はこの「陸上のプランクトン」とも言える、ユーモラスな動物に、急に興味を持った。クマムシは大きさが0.5mmにも満たないので、観察には性能の良い光学顕微鏡が必要である。まずは、顕微鏡で見ると「どんなふうに」見えるのかを聞いてみた。

友人は、職場(中学校)の科学クラブで「クマムシ探し隊」を結成し、さまざまな場所のコケからクマムシを探しているという。なかなか熱心だ。私は顕微鏡で観察した、クマムシの動画を見せてもらった。



これが、顕微鏡で見たクマムシである。ちょっと「伸び」をした格好で、脚が片側に4本(両側で8本)見える。この「8本脚」が同定に重要な特徴となる。



こちらは「前かがみ」になった状態。ダンゴムシのように見える。これは面白い!自分でも探したい!